

令和7年度 湯浅町社会福祉協議会事業計画

【 基 本 理 念 】

湯浅町社会福祉協議会は、地域の様々な人の知恵と力を結集し「誰もが安全で安心して暮らせる福祉と人権の守られた町づくり」の推進を図ります。

2025年は、「団塊世代」が75歳以上の後期高齢者となり、今まで「高齢化社会に達する速度」が問題視されてきた時代から「高い高齢化率」が危惧される時代に突入していきます。

本格的な超高齢社会を迎える湯浅町においては高齢世帯の増加、人口減少や若年世帯の減少の影響による人間関係の希薄化、福祉課題の増加等が予想されるなか、住民相互の支え合いによるコミュニティの再構築に向けた対策が重要となっております。

昨年度より取り組んできました湯浅町で独自に地域活動を行う様々な団体と連携、協働し地域共生社会の実現に向けた取り組みを継続するとともに、地域住民が主体となったサロン活動への継続的な支援、地域ニーズの把握、社会資源の掘り起こしに取り組むことで、支え合いによる生きがい対策や健康づくりで住民同士のつながり・ささえあいの輪を広げる活動を推進します。

特に、社協事業の柱である総合相談窓口としての役割を十分に果たすことをはじめ、住民が抱える様々な課題の解決に向け、各関係機関や地域で独自に活動する団体とも連携を密にし、気軽に利用できる総合的な相談窓口として住民に身近な社協をめざします。

また、30年以内に80%程度の確率で発生すると言われていた南海トラフ地震等による大規模災害が予想されるなか、平時から行政や関係機関との連携を密にすることで、すべての住民の命を守るための継続した啓発事業を実施します。

介護事業分野においては利用者本位を念頭に常に満足度の高いサービスを提供することをはじめ、利用者数を安定させることで健全な事業運営を目指し、加えて介護離職防止と人材確保、雇用定着に向けた取り組みを研究していきたいと考えます。

本年度も職員が一丸となって以上の活動に対する取り組みを強化し、町民の皆様理解・賛同・参画されるように創意工夫した広報啓発に努め、基本理念である「安全で安心して暮らせる福祉と人権が守られた町づくり」達成のための事業を推進します。

令和7年度 重点目標

◎ともに地域を支え合うひとづくり

- *地域福祉の担い手づくりに向けた取り組み
- *地域活動・ボランティア活動の充実・普及のための取り組み
- *地域福祉を学ぶ機会の充実のための取り組み
- *情報通信技術（ICT）の整備・活用
- *地域の社会資源の調査・発掘と調整
- *地域共生社会の実現に向け様々な関係団体と連携した事業の開催
- *災害VC運営に向けた「災害VC運営支援システム（キントーン）」の整備と災害時対応マニュアルの整備
- *災害時避難指定場所としての機能
- *老人大学50周年事業に向けた取り組み

◎誰もが安心・安全に住み続けたい町づくり

- *地域における支え合いの推進
- *生涯の健康・生きがいづくりを目的とした地域福祉の推進
- *福祉サービスの充実と相談支援体制の強化
- *緊急時の防犯、防災・感染症対策（BCP）・虐待予防における体制の確立

◎誰一人取り残さないつながりづくり

- *相談支援体制の充実
- *きめ細やかな情報提供の実施
- *一人ひとりの人権を認め、擁護する取り組み
- *地域と人がつながり相互の支え合いの気持ちを育む事業の推進

◎その他、社協に求められる地域福祉活動推進のための事業推進